

平成28年度

十勝人チャレンジ支援事業 採択事業一覧(3件3名)

| No. | 応募者 | 勤め先 | 年齢 | 調査先/テーマ | 事業概要 | 応募者市町村 |
|-----|-------------------|-------------------------------------|----|--|--|--------|
| 1 | モリシタ サキ 森下 早希 | (株)トリノ 帯広市 就労支援(食品製造 及び梱包) | 36 | 国内(札幌市他) ジャガイモ繊維配合の和 紙作り | <ul style="list-style-type: none"> ●ジャガイモの繊維を混入した名刺などの製品が好評で注文が増えているが、漉作業の作業効率が低く受注の対応が難しい。出来上がりの紙の厚みを一定にする技術のスキルアップが必要。 ●作業効率の向上と、十勝の農産物を原料にした新商品開発(豆、枝豆、そば等)、またジャガイモの押し花、そばの押し花、などを織り込んだ開発も取り組む。 ●紙漉の技術のスキルアップや生産効率を向上することで、紙漉きのビジネスとしての基盤を築く。将来的には、帯広の農作物全般を原料に、紙の作成のみならず和紙を使用した商品づくりで帯広ブランドを目指す。 | 帯広市 |
| 2 | タカハシ タツヤ 高橋 達也 | 石田めん羊牧場 足寄町 畜産業(羊) | 27 | ヨーロッパ(フィンランド、 イギリス他) 羊毛生産技術と風土に あった羊毛製品を探る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●日本のめん羊生産牧場では、刈られる羊毛のほとんどが毛の汚れや不純物が混じり低品質なため廃棄されている。当牧場では一部の羊毛を商品化しているが、少量の羊毛しか使えず非効率で価格もあがるため、羊毛を副産物として商品化するのに大きな課題となっている。 ●汚れや不純物の少ない高品質な羊毛を生産するための飼育技術や、洗浄、紡績、製品加工、販売行程などを学ぶ。足寄町での羊毛生産文化を展開するために様々な技術、工夫を習得するため調査を行う。 ●当牧場の羊毛の品質向上、生産効率、生産量の向上を目指す。足寄町で生産されためん羊から生産された羊毛を町内で製品化する。また、最高級品質の羊毛製品を中心とした、地域での羊毛技術の共有、高齢者間のつながりと編み技術向上の循環を生み、持続させることで羊毛生産と羊毛製品を足寄の文化へと発展させ、十勝へと広げる。 | 足寄町 |
| 3 | モリタ テツヤ 森田 哲也 | A-Net ファーム十勝 清水町 農業 | 47 | ヨーロッパ(フランス) 十勝発「小豆」の食文化 の普及と可能性について | <ul style="list-style-type: none"> ●人口減や食文化の概念や調理に関する固定観念の定着により市場が固定化し、消費量は減少傾向し価格も低下傾向にあり、安定的な消費拡大や市場開拓は容易ではない。更なるブランド化や適正価格を確保するための対策が必要。 ●パリでは、世界食品業界のトレンド調査、欧州における豆類の動向を探り、有名和食(和菓子)店の調査や料理人との意見交換及びワークショップを開催する。アルザス地方では、有名農場への調査・視察や農産物、加工品販売調査を行う。 ●十勝の美味しい小豆をフランスに広めるための取り組みを行う。十勝小豆をフランスで認められる存在にすることや、フランスに定期的に小豆を届けるシステム(パートナー)を探る。そのような取り組みを進めていく中で、十勝農業の「GLOBAL G.A.P」を携えた欧州販売戦略の一翼を担っていく。 | 清水町 |